

ようこそ

各地区で 門徒説明会を しました



三佐地区 ① 3区 (6月 3日、大村公民館) ② 1区 (6月 3日、円光寺)
 ③ 2区 (6月10日、円光寺) ④ 4区 (6月10日、遠見公民館)
 鶴崎大分地区 (6月24日) ⑤鶴崎公民館 ⑥明治明野公民館
 ⑦大分市コンパルホール

第 43 号
 浄土真宗本願寺派
 円光寺
 〒870-0108
 大分市三佐3-15-18
 TEL.097-527-6916
 FAX.097-527-6949

みんなのお寺づくりをしましょう

ご本山本願寺では昨年五月に「第二十五代専如門主伝灯奉告法要」が円成となり、若きご門主のもと新たな時代のスタートがきられました。このご勝縁に、円光寺でも住職を継職して新たな歩みを始めたいと思います。

少子高齢社会の現代にあつて核家族化が一段と進み、ご門徒衆がお寺の周辺から少なくなりお寺とご門徒とのつながりが薄くなって、お寺の護持運営が益々厳しくなるなかで、若い住職を中心に激変する現代社会に即応したお寺づくりに取り組んでほしいと思います。

円光寺にとって住職継職という大きな節目にあたり、これからのお寺の護持運営を見据えた八円光寺長期振興計画Vを策定し、ご門徒皆様共々にお念仏のご法義繁盛を願い計画推進をはかつてまいりたいと思います。

つきましては六月中に「住職継職に係る円光寺長期振興計画」門徒説明会を各七地区で開催し多くのご門徒皆様にお集まりいただきました。お寺へのあつい思いを感じ本堂に有難いことです。

大智新院への住職継職について晃照住職がお話をし、長期展望に立つてこれからのお寺の護持運営を見据えた計画を総代さんより提起して皆様のご意見ご要望をお寄せいただきました。

当初計画の本堂修復はこのたびは断念し、来る本堂庫裡等の新改築に備えて「円光寺みらい建設基金」を設け継職法要の経費と合わせてご門徒皆様にご懇志のご依頼をさせていただくことです。

継職までの五年間で次代につなぐお寺づくりを共にさせていただきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住職継職に係る円光寺長期振興計画についてお願いのこと

先般平成29年11月26日付ご門徒皆様にお知らせしました「住職継職に係る円光寺長期振興計画趣意書」に基づき、これまで常任委員会・委員会を重ねて計画推進事業の内容について具体的に協議検討してまいりました。

つきましては、住職継職という大きな節目にあたり、お念仏のご法義繁盛を願いこれからのお寺の護持運営を見据えて、ご門徒皆様共々に下記の通り計画推進をはかってまいりたいと存じます。

＜長期振興計画推進事業＞

1. 第十八世住職退任式(平成34年御正忌報恩講のご縁でお勤めいたします)
2. 第十九世住職継職奉告慶讃法要(平成36年に勤修いたします)
3. 本堂修復について
 - (1) 当初計画の継職法要前までの修復工事は下記の事由を踏まえ行いません。
 - ①屋根の修復について、部分修復、新建材による葺替えも検討した上で、銅板による全面葺替え以外にないという結論になったが、見積り額に対するご懇志の依頼等資金調達に目途が立たないことが判った。
 - ②外壁並びに鉄筋本体の補修について、耐震対策を含め現状でどこまで工事をすればこの先何十年大丈夫なのか判らない。
 - (2) 今後本堂の状態を見ながら、次のように計画推進していきます。
 - ①将来的にはいずれ本堂修復の時が来る。本堂に隣接する庫裡を含め、本堂新築・庫裡新築の事も見据えた長期計画を検討していく。
 - ②については大きな経費が掛かる。次の世代に全て負担を先送りするのではなく、今私たちの世代でできる財政の基盤づくりを進める。
本堂庫裡等新改築のための未来建設基金特別会計を設け増殖をはかる。
4. これからの円光寺の護持運営について
お寺での葬儀執行や納骨事業などを展開して護持運営の資金にする。

【計画推進する上でお願いのこと】

- (1) 護持資金はこれまで通り門徒一戸月千円(年額12,000円)をお願い致します。
- (2) 住職継職及びみらい建設基金に係る門徒懇志として、門徒一戸12万円を5年間(平成31~35年度)でお納めくださいますようお願い致します。
- (3) 円光寺の未来を拓く永代経懇志として、個人懇志を広くお願い致します。

以上、本計画についてご門徒皆様への説明会を予定しています。広くご意見ご要望をいただき、あたたかいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2018(平成30)年4月15日

円光寺 住 職 藤並 晃 照
円光寺 副住職 藤並 大 智
円光寺門徒総代長 岩 崎 輝 雄

お朝事「法話」より

月参りのご縁
お念仏の見守り

昨日は新院が留守で代わって月参りをさせていただきました。月参りに行きますとお家の方とお話になります。何とも有難いご縁だなと思います。

玄関で「ごめんください」と言っ

てそのままお仏間に向います。そしてお仏壇の前に座りお灯明をあげお線香をたいてお勤めを始めます。後ろでお家の方が一緒にいます。そしてお勤めの後お茶をいただきながらお話になります。

一人暮らしの高齢者の見守りがいわれています。これから益々独居世帯が増えてまいります。地域でいろんな見守り活動がされているようです。

企業の協力もあって定期的に飲料物を届ける際に声かけをして安否を確認するといったことも報じられています。

それ以上にこの月参りのご縁は直接安否が確認できお話ができるということです。世間話ですが、仏さまのご縁です。



あじさいの会(仏教婦人会旧理事さんの会)を行いに袋を作りました(6月12日、あんのん館)

僧衣をつけさせていたでいるということ。お家の方もお念珠をもち式章をつけられている方もいます。そしてその中心にお仏壇をいただいているということなのです。

阿弥陀さまのお念仏のご法義に私もあなたも一緒に遇わせていただいているということに安心できます。

安心していろんなお話になります。それこそ他の場所でも他人にはお話できないことも仏さまの前だからこそ僧衣をつけている者にそうしたお話もできるのではないのでしょうか。

苦しみ悩みと違って、中々親しい人にも言い出せないもので

す。一人で悩みを抱え込むということにもなります。

苦しみ悩みをふつと漏らす、愚痴をこぼせる場所が実はこの仏さまの御前なのです。

「いいよいよ、あなたの思いのたけをどうぞ私に聞かせておくれ」と阿弥陀さまは胸を開いて促してくださいませ。

その阿弥陀さまの大きなお心おはたらきに包まれて、私たちはお念仏を申して生きていけるのです。

あらためてお念仏のご法義のすばらしさ、先人がつくつてくださった月参りのご縁の有難さを思います。(6月12日)

お朝事にお参りしましょう

▲毎朝6時30分～7時

円光寺ホームページで

▲お念仏申す生活法話

お朝事「法話」を

日々更新しています

ようこそ円光寺へ

珍珠町の光林寺様(帆足一洋御住職)仏教婦人会の皆さんが研修旅行でお参りされ一緒に

お念仏のご縁をいただきました。当日は早朝より仏教壮年会の皆さんに境内の植木の剪定清掃活動をしていただききれいな



前住職様坊守様も一緒に親鸞聖人御尊像と満開のやまぼうしの木の前で記念撮影です(6月10日)

ようこそ大分まちなか法話会

テーマ 「65歳からの仏教」

講師 藤井邦麿 師(日出町正善寺様)

とき 8月25日(土) 午後1時半～3時半

ところ 大分市コンパルホール(三〇四会議室)

花まつりコンサート



フルートとクラシックギターの演奏です
さわやかな春の風によって心とみます



本堂向拝特設花御堂の誕生仏に甘茶をかけて
お釈迦さまのお誕生をお祝いしました

4月8日 花まつりのご縁に
お念仏のお花がいっぱい咲きました

小学新一年生を祝う会

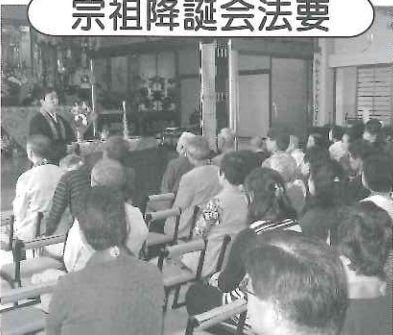


白象パレードの後で子どもも大人たちも
みんな一緒に記念撮影です



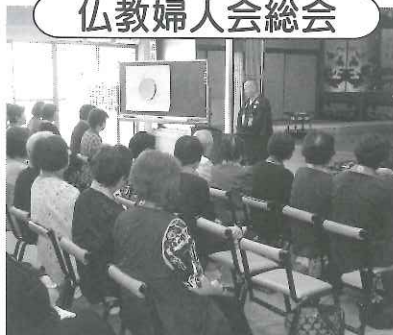
新一年生8人のお友だちが参加してくれました
またお寺に遊びに来てね!!

宗祖降誕会法要



恵美智生御講師
(中津市浄光寺様)
(5月20日)

仏教婦人会総会



武田玄瑞御講師
(白杵市善正寺様)
(5月19日)

春季彼岸会法要



佐々木浄徹御講師
(豊後大野市了因寺様)
(3月20日)

ご法話お聴聞
お念仏のご縁です

今号は任職継職に係る記事が中心になった。ちょうど70歳の継職になる。お寺の世界ではまだまだ早い色々これからのという年齢だが、ここは余力を残して新任職の邪魔にならないように次のステージにチャレンジさせていきたいと思います。

これまで『ようこそ』紙面でも発信してきたことを一つ一つ形にしていくことだが、一つの施策としてホームページの充実をはかることで本紙『ようこそ』は継職まで五十号の発行としたい。いつも読んで励ましていただき、ありがとうございます。

あ と が き



6年生2人が修了しました
毎週水曜日にようこそ通ってくれました
(3月14日)

すいよう学校修了式